

古文 品詞分解（動詞・助動詞）「伊勢物語・東下り」問題①

昔、男^①あり^アけり。その男、身をえうなきものに^②思ひなして、京には^③あら^イじ、東の方に^④住む^ウべき国^⑤求めに、とて^⑥行き^エけり。もとより友と^⑦する人、ひとりふたりして^⑧行き^オけり。道^⑨知れ^カる人もなくて、^⑩惑ひ行き^キけり。三河の国八橋と^⑪いふ所に^⑫至り^クぬ。^⑬そこを八橋と^{いひ}けるは、水^⑭ゆく河の蜘蛛手^コなれば、橋を八つ^⑮渡せ^サるに^⑯よりてなむ、^⑰八橋と^{いひ}しける。その沢のほとりの木の陰に^⑯下りみて、乾飯^⑯食ひ^スけり。その沢に、^⑯かきつばたいとおもしろく^⑰咲き^セたり。それを^⑯見て、ある人のいはく、「かきつばた、^⑯と^⑯いふ五文字を句の上に^⑯据ゑて、旅の心を^⑯詠め。」と^⑯言ひ^ソければ、^⑯詠め^タる。^⑯唐衣^⑯着つ^つ^㉕なれ^チに^ツしつまし^㉖あればはるばる^㉗き^チぬる旅をしづ^㉘思ふ^{と^㉙詠め^{トリ}ナ^{けれ}ば、みな人、乾飯の上に涙^㉚落として、^㉛ほとび^ニに^スけり。}

古文 品詞分解（動詞・助動詞）「伊勢物語・東下り」 解答①

ラ変用 過去

サ四用

ラ変未 打消意志

昔、男^①あり^アけり。その男、身をえうなきものに^②思ひなして、京には^③あら^イじ、東の方に

マ四終 適当

マ下二用

カ四用 過去

カ四用

カ四用 完了

④住む^ウべき国^⑤求めに、とて^⑥行き^エけり。もとより友と^⑦する人、ひとりふたりして^⑧行き

過去 ラ四回 存続

サ四回

ラ四用 過去

カ四用

オ^ケり。道^⑨知れ^カる人もなくて、^⑩惑ひ行き^キけり。三河の国八橋と^⑪いふ所に^⑫至り^クぬ。

ハ四用 過去

カ四体

サ四回

ラ四用 存続

ラ四用

そこを八橋と^⑬いひ^ケけるは、水^⑭ゆく河の蜘蛛手^コなれば、橋を八つ^⑮渡せ^サるに^⑯よりてなむ、

ハ四用 過去

ワ上一用

ハ四用 過去

ラ四用

八橋と^⑰いひ^シける。その沢のほとりの木の陰に^⑯下りみて、乾飯^⑯食ひ^スけり。その沢に、

カ四用 存続

マ上一用

ハ四用 過去

ラ四用

かきつばたいとおもしろく^⑰咲き^セたり。それを^⑯見て、ある人のいはく、「かきつばた、

ハ四用

ワ下二用

マ四金

ハ四用 過去

ラ四用

と^⑲いふ五文字を句の上に^⑳据ゑて、旅の心を^㉑詠め。」と^㉒言ひ^ソければ、^㉓詠め^タる。

カ上一用

ラ下二用 完了

過去

マ四回

ハ四用 過去

ラ四用

唐衣^㉔着つ^㉕なれ^チに^ツしつまし^㉖あればはるばる^㉗き^チぬる旅をしづ^㉘思ふ

マ変回 完了

サ四用

ハ四用 完了

ラ四用

と^㉙詠め^トり^ナければ、みな人、乾飯の上に涙^㉚落として、^㉛ほとび^ニに^スけり。

バ上二用 完了

過去

ハ四用 完了

ラ四用